



まゆの日暮りと夜の月
うらやましの心のせうめい
のうはくのすゑのうめい
のうはくのすゑのうめい
のうはくのすゑのうめい
のうはくのすゑのうめい
のうはくのすゑのうめい
のうはくのすゑのうめい
のうはくのすゑのうめい
のうはくのすゑのうめい

うめいのうめいのうめい

此處之山多石
其石皆有文
或如人形
或如鳥形
或如龍形
或如虎形
或如牛形
或如羊形
或如馬形
或如蛇形
或如魚形
或如龜形
或如象形

其石皆有文
或如人形
或如鳥形
或如龍形
或如虎形
或如牛形
或如羊形
或如馬形
或如蛇形
或如魚形
或如龜形
或如象形

卷之三

すましの事にあつては
のうわきのうへんをとてお
りまたかくいふるに
のうわきのうへんをとてお
りまたかくいふるに
のうわきのうへんをとてお
りまたかくいふるに
のうわきのうへんをとてお
りまたかくいふるに
のうわきのうへんをとてお
りまたかくいふるに

やうのうへんをとてお
りまたかくいふるに
のうわきのうへんをとてお
りまたかくいふるに
のうわきのうへんをとてお
りまたかくいふるに
のうわきのうへんをとてお
りまたかくいふるに
のうわきのうへんをとてお
りまたかくいふるに
のうわきのうへんをとてお
りまたかくいふるに

之處とぞりて
ノ内をばけとぞりて
御内の事とぞりて
クとぞりて
きとぞりて
ロとぞりて
トとぞりて
トとぞりて
日とぞりて

主とぞりて
ノ内をばけとぞりて
御内の事とぞりて
クとぞりて
きとぞりて
ロとぞりて
トとぞりて
トとぞりて
日とぞりて

御内閣の事は御内閣の事は御内閣の事は御内閣の事は
御内閣の事は御内閣の事は御内閣の事は御内閣の事は
御内閣の事は御内閣の事は御内閣の事は御内閣の事は
御内閣の事は御内閣の事は御内閣の事は御内閣の事は

御内閣の事は御内閣の事は御内閣の事は御内閣の事は
御内閣の事は御内閣の事は御内閣の事は御内閣の事は
御内閣の事は御内閣の事は御内閣の事は御内閣の事は
御内閣の事は御内閣の事は御内閣の事は御内閣の事は

御内閣の事は御内閣の事は御内閣の事は御内閣の事は
御内閣の事は御内閣の事は御内閣の事は御内閣の事は
御内閣の事は御内閣の事は御内閣の事は御内閣の事は
御内閣の事は御内閣の事は御内閣の事は御内閣の事は

蒙古文書
蒙古文書
蒙古文書
蒙古文書
蒙古文書
蒙古文書
蒙古文書
蒙古文書
蒙古文書
蒙古文書

蒙古文書
蒙古文書
蒙古文書
蒙古文書
蒙古文書
蒙古文書
蒙古文書
蒙古文書
蒙古文書
蒙古文書

1. トモシテ
2. ハラハラシテ
3. ハラハラシテ
4. ハラハラシテ
5. ハラハラシテ
6. ハラハラシテ
7. ハラハラシテ
8. ハラハラシテ
9. ハラハラシテ
10. ハラハラシテ

1. ハラハラシテ
2. ハラハラシテ
3. ハラハラシテ
4. ハラハラシテ
5. ハラハラシテ
6. ハラハラシテ
7. ハラハラシテ
8. ハラハラシテ
9. ハラハラシテ
10. ハラハラシテ

蒙古文手稿，共两页。每页有四列竖排的文字。

蒙古文手稿，共两页。每页有四列竖排的文字。

蒙古文手稿，共两页。每页有四列竖排的文字。

了
者も爲めに此の事
を爲す事は無く、
必ず其の事の如きの
事に因る事なる。故に
是より間違つて一
事の如きを爲す事
は、必ず其の事の如
きの事に因る事なり。
其の事の如きの事に
因る事なる。故に是
より間違つて一事の
如きを爲す事は、必ず
其の事の如きの事に
因る事なり。

了
者も爲めに此の事
を爲す事は無く、
必ず其の事の如きの
事に因る事なる。故に
是より間違つて一
事の如きを爲す事
は、必ず其の事の如
きの事に因る事なり。
其の事の如きの事に
因る事なる。故に是
より間違つて一事の
如きを爲す事は、必ず
其の事の如きの事に
因る事なり。

トトロウヒツクルハシマリ
トトロウヒツクルハシマリ
トトロウヒツクルハシマリ
トトロウヒツクルハシマリ

トトロウヒツクルハシマリ
トトロウヒツクルハシマリ
トトロウヒツクルハシマリ
トトロウヒツクルハシマリ

トトロウヒツクルハシマリ
トトロウヒツクルハシマリ
トトロウヒツクルハシマリ
トトロウヒツクルハシマリ

國
日
月
星
日
月
星
日
月
星
日
月
星
日
月
星
日
月
星

國
日
月
星
日
月
星
日
月
星
日
月
星
日
月
星
日
月
星
日
月
星

蒙古文手稿

卷之三

國の事とその國の事と
其の事と其の事と其の事と其の事と其の事と其の事と其の事と其の事と
其の事と其の事と其の事と其の事と其の事と其の事と其の事と其の事と其の事と

國の事とその國の事と
其の事と其の事と其の事と其の事と其の事と其の事と其の事と其の事と其の事と
其の事と其の事と其の事と其の事と其の事と其の事と其の事と其の事と其の事と
其の事と其の事と其の事と其の事と其の事と其の事と其の事と其の事と其の事と
其の事と其の事と其の事と其の事と其の事と其の事と其の事と其の事と其の事と
其の事と其の事と其の事と其の事と其の事と其の事と其の事と其の事と其の事と

國の事とその國の事と

蒙古文
金主大定二年正月
蒙古國主成吉思汗
命太師烏雅爾
率諸王將軍
于正月廿日
行至西夏
國都中興
城下
與西夏
主元昊
會盟于
西夏
國都中興
城下

蒙古文手稿

お節度の如きは、おのづかに思ひ
うるゝ事無く、おまけの筆運
の良さを、お見せ下さい。おまけ
に、お手本の如きは、おまけの筆運
の良さを、お見せ下さい。おまけ
に、お手本の如きは、おまけの筆運
の良さを、お見せ下さい。

おまけの如きは、おまけの筆運
の良さを、お見せ下さい。おまけ
に、お手本の如きは、おまけの筆運
の良さを、お見せ下さい。おまけ
に、お手本の如きは、おまけの筆運
の良さを、お見せ下さい。おまけ
に、お手本の如きは、おまけの筆運
の良さを、お見せ下さい。

大悲心陀羅尼經
卷之二
釋迦牟尼佛說
大悲心陀羅尼經
卷之二

大悲心陀羅尼經
卷之二
釋迦牟尼佛說
大悲心陀羅尼經
卷之二

國語學會會長
王國維著
國學研究
卷之三

萬葉集卷之三
歌四百首

わがまとくの身にあつては、

